



# 連携支援センター

## 「縁」たより

湖西であんきに暮ら住まい



第25号  
2022年 2月

### <新型コロナワクチン3回目の追加接種について>

2月6日(日)から65歳以上の高齢者に接種開始 対象者:2回目の接種完了から概ね8か月以上経過した方より順次案内が届きます。

●在宅医療対応情報アンケートにご協力いただきありがとうございました。●  
更新し3月中には、ホームページ掲載予定です。

※ 医療・介護専門職の方向けの情報です。ぜひ、ご活用ください！！

<検索方法>

湖西市公式ホームページ>高齢者福祉>在宅医療・介護連携推進事業

R3.10. 9(土)に開催されました認知症ピアパートナー交流会「認知症の方の思いを聞く～私たちにもできること、一緒に探しませんか～」の当日の様子を「湖西市公式YouTubeチャンネル」にて配信しています。

動画はこちらからご覧になれます ⇒ <https://youtu.be/ToC2FI62gLE>

\* DVDの貸し出しも可能です。貸し出しについては高齢者福祉課白井までご相談ください。\*  
ご視聴いただき、認知症ご本人の声を聴き、誰でもなり得る病気として心構えや、認知症になっても暮らしやすい街にするために、自分たちができることを考える最初の1歩にしませんか。 <高齢者福祉課 地域包括ケア推進係>

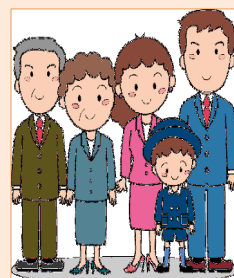
## 終活 ・ エンディングノート ・ ACP のちがいは？

### 「終活」

万が一の時に備え、人生の総括を行い、人生の最期を円滑に迎えるために、いろいろな準備を行っておくこと。具体的には、身の回りの整理、遺言や遺産相続のための計画、葬儀やお墓の準備など。

### 「エンディングノート」

人生の終わりのために準備している内容や、家族や友人に伝えておきたいことなどを書き留めたもの。



### 「ACP（アドバンス ケア プランニング） 通称：人生会議」

将来病気や介護が必要になったときに備えて、自分が大切にしていることや希望、これからどのように過ごしたいか、将来どのような治療やケアを望んでいるかについて自ら考え、自分の信頼している家族等大切な人たちや、医療・介護関係者とあらかじめ話し合っ共有するプロセス(過程)。話し合いは、一度で終わりとせず折に触れて行う。

## \* 訪問診療 ・ 往診 \* のちがい

### 「訪問診療」 とは

計画的な医療サービス(診療)を行うこと。定期的、且つ計画的に訪問し、診療・治療・薬の処方・療養上の相談・指導等を行う。また相談を受けた時点で、既往歴・現病歴・病状等を詳しく伺うとともに、関係医療機関などから情報収集を図り、家族の介護力や経済的な事情も伺いながら、診療計画・訪問スケジュールを立てます。急変時には、緊急訪問したり、入院の手配など、臨機応変に対応します。多くの場合24時間体制で在宅療養をサポートします。

### 「往診」 とは

通院できない方の要請を受け医師がその都度、診療を行うこと。突発的な病状の変化に対し救急車を呼ぶほどでもない場合など、かかりつけ医に頼んで診察に来てもらうもので、基本的に困ったときの臨時手段です。

通所リハビリテーション事業所（デイケア）

要介護者が介護老人保健施設、病院、診療所等に併設された施設や介護医療院に通い理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等の専門スタッフによる機能維持回復訓練や日常生活動作訓練が受けられるサービスです。リハビリテーションがメインの通所サービスで主治医の指示によって受けることになっています。

通所リハビリテーションセンターこでまり

住み慣れた家で家族と安心して暮らせるよう  
リハビリと介護で利用者様を支援して参ります。  
生活に合わせた個別リハビリと作業活動、趣味活動で楽しく充実した一日を過ごしていただきたいと思います。  
歯科衛生士による口腔機能のチェックも行っています。  
TEL：053-573-0088  
営業日：月曜日～土曜日・祝日



介護老人保健施設

まんさくの里 通所リハビリ

要支援1から要介護5の方を対象に一日定員60名の方を対象にリハビリ・介護を提供しています。楽しく活き活きと在宅生活が送れるよう日常生活を通して今ある心身機能を高めることができるよう支援しています。

湖西市岡崎1353-1 ☎ 053-522-7008(通所リハ直通)

訪問リハビリテーション事業所

病院、診療所、介護老人保健施設の理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が、利用者の自宅を訪問し心身の機能の維持・回復・日常生活の自立を支援するために、理学療法・作業療法等のリハビリテーションを行うサービスです。また介護する家族へのアドバイス・相談も行います。在宅生活において日常生活の自立と社会参加を目的として提供されるサービスです。

訪問入浴事業所

看護師1名を含めた3名（または2名）のスタッフが自宅に訪問し、専用の浴槽を使って入浴をサポートしてくれる介護サービスです。要介護者本人が自力での入浴が困難であったり、家族のサポートだけでは入浴が難しい場合、サービスを受けることで、ご本人の清潔が保たれ、家族の負担も軽減されます。

まんさくの里 訪問リハビリ

「病院や施設から在宅復帰された方」や  
「在宅生活を長く続けたい方」など  
自宅の環境を生かしたリハビリを行います。  
★無料体験も行っております。

湖西市岡崎1353-1 ☎ 053-522-7008(通所訪問直通)

湖西市社協介護センターあらい

住み慣れたご自宅で安心して  
入浴ができるよう看護師と介護  
員の3人で対応しています。  
ご利用者、ご家族との対話も大切にし、温かいサービスをお届けしています。

☎053-594-5000



< 認知症 と間違いやすい精神疾患や身体疾患 >

「歳だからしょうがない」と思っていませんか！！

認知症疑いで専門医を受診された方の中で、精査（必要に応じてCTなどの画像検査・血液検査・脳波・心理検査）を行うことで以下の病気が発見されるケースは決して少なくないそうです。

< 治療できる病気も多く、見逃しを防ぐことが大切です！！ >

**<うつ病>** 高齢者のうつ病では、抑うつ気分や思考抑制などのうつ病症状により、注意・集中力や判断力、記憶力が低下し一見認知症のように見える（仮性認知症）。認知機能検査でも低い点数がでる。（治療：抗うつ薬の使用）

**<てんかん>** 身体を突っ張らせて痙攣発作をイメージしてしまい、子供に多い病気と思われるが高齢者にも決して少なくない。高齢者は痙攣を伴わない発作が多いため気づかれない場合もある。痙攣を伴わない発作は一時的な意識消失、目の焦点が合わずぼんやり、発作の間の記憶がないなど。（治療：抗てんかん薬）

**<正常圧水頭症>** 脳に髄液が溜まりすぎることが原因。髄液が脳を圧迫することで、徐々に認知症のような症状が出現。脳への損傷から身体的な障害や集中力低下が見られる。（治療：手術で髄液を正常に流す）

**<慢性硬膜下血腫>** 頭部外傷によって脳内の血管が切れ硬膜と軟膜の間に血液がたまり脳実質を圧迫。高齢者に多く見当識障害、注意力低下、判断力欠如、簡単な計算ができないなど。非常に進行が遅く、症状が現れることが遅い。（治療：手術で血腫を取り除く）  
etc

<シズケア＊かけはし ちょこっとメモ>

- ・PSショット(ios限定) PSショットにビデオ録画時間を従来の45秒から最長3分に延長する機能が追加されました。
- ・クラウド会議無料利用期間が延長となりました。(R5.3.31まで)

連携支援センター“縁”(ゆかり)開設時間 月、火、木、金の9:00～16:00電話：053-576-4900(直通)FAX：053-576-1220

◇関係者の皆様で共有したい情報、知りたい情報がありましたら当センターにご連絡下さい。メール：[kourei@city.kosai.lg.jp](mailto:kourei@city.kosai.lg.jp)

編集 連携支援センター“縁” 発行 静岡県湖西市役所健康福祉部高齢者福祉課

